

1

Rd.

APR 2013

平成25年4月30日発行



SUPER
FORMULA

RACING PRESS

apan

ALL JAPAN Super FORMULA
Round1 SUZUKA



SUPER
FORMULA

Round 1 SUZUKA

4/13-14

Photo

鉄谷康博
加藤智充
中村佳史

Special Thanks
上尾雅英

Editor
吉川絹恵

Cover Photo
鉄谷康博

17年間親しまれた国内トップフォーミュラ「フォーミュラニッポン」は今シーズンから名称を「全日本スーパーフォーミュラ」に変更。初年度の戦いを占うのが2&4として開催される鈴鹿の開幕戦であり、新生スーパーフォーミュラの歴史に残る戦いの幕が開いた。



新生スーパーフォーミュラが鈴鹿より始動!



TAKUYA IZAWA

新生スーパーフォーミュラの歴史的な1勝を飾ったのは40号車DOCOMO TEAM DANDELIONRACINGの伊沢拓也、マシンから降りてガッツポーズで応えていた。

小暮卓史は残り2周でトラブルに泣き、伊沢拓也が逆転優勝！



WINNER

ルーキ平川亮は予選、決勝共に8位。



3rd

予選2番手の小暮卓史はライバルでもあり、GTではチームメイトの伊沢拓也とファストローにマシンを並べた。チームメイト対決となった小暮は2周目には伊沢をパスして順調にラップを重ね誰もが優勝の二文字を疑わない走りを見せる小暮のマシンにまさかの異変。残り2周でついに伊沢がトップに浮上。見事に初戦をポールトゥウインでチェッカー。歴史の1ページを優勝で飾った。タイヤに悩まされながら耐えた松田は2位でフィニッシュ。小暮は3位に後退。ルーキ平川亮は予選、決勝共に8位となりポイントを得た。



2nd



決勝結果

優勝	No.40	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	伊沢拓也
2位	No.20	Lenovo TEAM IMPUL	松田次生
3位	No.32	NAKAJIMA RACING	小暮卓史
4位	No.16	TEAM無限	山本尚貴
5位	No.1	PETRONAS TEAM Tom's	中嶋一貴
6位	No.19	Lenovo TEAM IMPUL	J.P.オリベイラ

2013 MFJ ALL JAPAN SUPERBIKE Round 2

開幕戦ツインリンクもてぎから2週間、全日本ロードレース選手権は第2戦を迎え、4輪レースと併催の2&4レースとして開催された。鈴鹿では絶対的なスピードを持つ#4秋吉耕佑が予選から見事な走りでもポールポジションを獲得。決勝でもその速さは衰えをみせず高橋巧、加賀山就臣を抑えポールトゥウィンで優勝を飾った。



Special Eye

Photo by: MASAHIKE KAMIO

